

A 重点実践事項に基づいた評価

重点実践事項	評 価 項 目	評 価 () は 1 回目
1 障害の重度・重複化及び多様化に対応する教育課程の編成と実践	(1) 学習指導要領の趣旨を生かした一人一人の実態に応じた弾力的な教育課程の編成及び見直しを推進しているか。	3. 0 (3. 2)
	(2) 小・中一貫した指導と児童生徒の実態を踏まえた生きる力を育む教育活動を実践しているか。 (「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成及び活用)	3. 0 (3. 1)
2 本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進	(1) 検証授業及び効果的な授業研究の実施による確かな授業改善につながる研究を推進しているか。	3. 1 (3. 1)
	(2) 特別支援教育における専門性の向上を図る研修は充実しているか。 (自立活動や外部専門家を活用した研修、教材・教具の開発と工夫・改善)	3. 3 (3. 5)
3 健康状態の維持・改善や安全対策及び危機管理体制の充実	(1) 多様な指標に基づくきめ細かな健康観察は充実しているか。また、教育活動に生かす健康相談を実施しているか。	3. 5 (3. 6)
	(2) 家庭及びやまびこ医療福祉センターと連携した効果的な感染症対策を推進しているか。	3. 6 (3. 7)
	(3) 安心・安全な医療的ケアを実施しているか。また、医療的ケア体制は充実しているか。	3. 5 (3. 8)
	(4) 状況に応じた緊急時対応を推進しているか。 (緊急時対応の見直しや災害時対応の整備と見直し)	3. 3 (3. 4)
	(5) 安全点検に基づく安心・安全な学習環境を整備しているか。	3. 3 (3. 5)
4 地域における特別支援教育のセンター的機能の推進と信頼される学校づくり	(1) 支援の必要な子供やその保護者、関係者に対する教育相談は充実しているか。	3. 2 (3. 3)
	(2) 巡回相談等による専門性を生かした指導や支援を推進しているか。	3. 5 (3. 5)
	(3) 学校だよりや P T A だよりなどによる情報を発信しているか。	3. 4 (3. 5)
	(4) 交流及び共同学習を推進しているか。 (地域の小・中学校や施設・団体、やまびこ医療福祉センターや鹿児島養護学校)	3. 3 (3. 4)
5 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進	(1) 児童生徒の将来を見据えたキャリア教育を実践しているか。	2. 9 (2. 9)

※ 評価は「4：十分達成できている」「3：おおむね達成できている」「2：やや不十分である」「1：不十分である」の4段階で実施。

<まとめとして>

- 全体的におおむね「達成できている」という結果が出ている。
- 実践事項3「健康状態の維持・改善や安全対策及び危機管理体制の充実」に関してはポイントが高い。
 - ・ 感染症対策については、今年度も家庭ややまびこ医療福祉センターと連携して児童生徒の健康状態を把握しながら、予防のためのマスク着用や登校前の清掃を行い、病原菌を持ち込まない・持ち出さない取組を続けてきた。その成果が、児童生徒が一年を通じて大きな欠席もなく過ごすことができたことにつながっていると考える。また、今年度は摂食指導について、給食の様子見てもらい外部専門家にアドバイスをいただいたり、教室の棚に防護カバーを付ける等、安全な学習環境の整備も行ってきたりした。これらの取組も含め、実践事項3については、今後も本校にとって重要な実践事項であることを深く認識し、健康で安全な学校生活を送ることができるよう努めていきたい。
 - ・ 医療的ケアの体制については、日頃から児童生徒の安全や健康について看護師との協力体制が培われている成果だと考える。医療的ケアの児童生徒への登校の際の体調確認や看護師体制等、きめ細やかな対応が、児童生徒・職員が安心して学習に取り組める環境を作っていると考えている。
- 実践事項5「肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進」に関してはポイントが低い。
 - ・ 実践事項5に関しては、本校の児童生徒にとってのキャリア教育について、その考え方や取組への個々の職員の意識が評価に表れていると考えられる。2学期には、連携するやまびこ医療福祉センター福祉部や鹿児島市内の福祉施設の方を講師に招いて研修会を実施することができた。今後も関係機関と連携し、研修を深めながらキャリア教育の啓発・推進に努めていきたい。
- 1回目の評価と比較して、2回目の評価が全体的に下回っている。
 - ・ 1回目、2回目の評価であるが、全体的には3. 0以上であり、おおむね達成できているという評価である。2回目の評価が全体的に低い理由としては、職員の課題意識の高さにあると考えられるが、1、2回目ともに評価が低い項目については、今後各係、学部等で具体的な改善策を検討し、来年度へ向けて取組を工夫していきたい。